

食品に関するリスクコミュニケーション —新しいコミュニケーションのフレームワーク作りを考える— アンケート集計結果

開催日：2008年2月29日(金)

問1 あなた自身のことや食品の安全性に関するお考えについてお聞きます。

① 性別

回答内容	件数	割合
1. 男性	14	70.0%
2. 女性	6	30.0%
合 計	20	100.0%

② 年齢

回答内容	件数	割合
1. 20歳未満	0	0.0%
2. 20歳代	3	15.0%
3. 30歳代	6	30.0%
4. 40歳代	4	20.0%
5. 50歳代	3	15.0%
6. 60歳代	3	15.0%
7. 70歳以上	1	5.0%
合 計	20	100.0%

③ 職業

回答内容	件数	割合
1. 消費者団体(生活協同組合関係者 など)	1	5.0%
2. 主婦、学生、無職	3	15.0%
3. 生産者(農林水産従事者など)	0	0.0%
4. 食品関連事業者・団体(加工、流通、販売 など)	0	0.0%
5. マスコミ(新聞記者、カメラマン など)	0	0.0%
6. 行政(自治体職員、独立行政法人等職員 など)	8	40.0%
7. 食品関連研究・教育機関(教員、研究職員 など)	5	25.0%
8. その他	2	10.0%
無回答	1	5.0%
合 計	20	100.0%

8. その他

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 1 | リスク問題に関心のある民間会社員(阪大「環境リスク管理人材養成講座受講生 |
| 2 | 大学教員 |

④ 食品に関するリスクコミュニケーション(意見交換会、講演会など)への参加回数

回答内容	件数	割合
1. 初めて	7	35.0%
2. 2回目	2	10.0%
3. 3回目	5	25.0%
4. 4回目	2	10.0%
5. 5回以上	4	20.0%
合 計	20	100.0%

⑤ 本日の意見交換会に参加された動機

回答内容	件数	割合
------	----	----

1. ヨーロッパにおけるリスク認知研究やリスクコミュニケーションの現状について知りたかったから。	4	20.0%
2. リスクコミュニケーションの研究者の話を直接聞いたかったから。	7	35.0%
3. 実際に食品安全に関するリスクコミュニケーションを行っている者の話を直接聞いたかったから。	4	20.0%
4. 少人数での相互対話に関心があったから。	0	0.0%
5. 業務の一環として参加する必要があったから	1	5.0%
6. 国が行うリスクコミュニケーションの取組について知りたかったから。	0	0.0%
7. その他	0	0.0%
無回答	4	20.0%
合計	20	100.0%

⑥ 「100%安全な食品はないこと」について、あなたはどのように思われますか

回答内容	件数	割合
1. 強くそう思う	15	75.0%
2. ややそう思う	2	10.0%
3. あまりそう思わない	2	10.0%
4. 全くそう思わない	1	5.0%
5. わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	20	100.0%

問2 本日の意見交換会についてお聞きます。

① 意見交換会開催時期

回答内容	件数	割合
1. とても適切だった	1	5.0%
2. 適切だった	13	65.0%
3. あまり適切ではない	3	15.0%
4. 適切ではない	0	0.0%
無回答	3	15.0%
合計	20	100.0%

② 開催方法(参加手続き・場所・所要時間)

回答内容	件数	割合
1. とても適切だった	0	0.0%
2. 適切だった	16	80.0%
3. あまり適切ではない	3	15.0%
4. 適切ではない	0	0.0%
無回答	1	5.0%
合計	20	100.0%

③ 配布資料

回答内容	件数	割合
1. とてもわかりやすかった	1	5.0%
2. わかりやすかった	16	80.0%
3. わかりにくかった	3	15.0%
4. 全くわからなかった	0	0.0%
合計	20	100.0%

④ 海外の専門家による講演

回答内容	件数	割合
1. とてもわかりやすかった	1	5.0%

2. わかりやすかった	16	80.0%
3. わかりにくかった	3	15.0%
4. 全くわからなかった	0	0.0%
合計	20	100.0%

⑤ 食品安全委員会による問題提起

回答内容	件数	割合
1. とてもわかりやすかった	2	10.0%
2. わかりやすかった	14	70.0%
3. わかりにくかった	3	15.0%
4. 全くわからなかった	0	0.0%
無回答	1	5.0%
合計	20	100.0%

⑥ ラウンドテーブル出席者による意見交換

回答内容	件数	割合
1. とてもわかりやすかった	1	5.0%
2. わかりやすかった	13	65.0%
3. わかりにくかった	4	20.0%
4. 全くわからなかった	0	0.0%
無回答	2	10.0%
合計	20	100.0%

⑦ 意見交換会全体

回答内容	件数	割合
1. 評価する	4	20.0%
2. おおむね評価する	12	60.0%
3. あまり評価しない	2	10.0%
4. 全く評価しない	0	0.0%
無回答	2	10.0%
合計	20	100.0%

問3 本日の意見交換会はあなたの仕事や生活にとって有益なものでしたか

①海外の専門家による講演について

回答内容	件数	割合
1. とても有益だった	3	15.0%
2. ある程度有益だった	14	70.0%
3. あまり有益でなかった	2	10.0%
4. 全く有益でなかった	0	0.0%
無回答	1	5.0%
合計	20	100.0%

②食品安全委員会による問題提起について

回答内容	件数	割合
1. とても有益だった	2	10.0%
2. ある程度有益だった	14	70.0%
3. あまり有益でなかった	3	15.0%
4. 全く有益でなかった	0	0.0%
無回答	1	5.0%
合計	20	100.0%

③ラウンドテーブル出席者による意見交換について

回答内容	件数	割合
1. とても有益だった	4	20.0%
2. ある程度有益だった	11	55.0%

3. あまり有益でなかった	3	15.0%
4. 全く有益でなかった	2	10.0%
合計	20	100.0%

問4 本日の意見交換会は、参加対象を絞った形式で行いましたが、このような形式の意見交換会についてどのように思われますか

回答内容	件数	割合
1. 様々な関係者が一同に会するより、テーマに応じて対象を絞った方が、より掘り下げた意見交換ができてよい。	15	75.0%
2. いかなるテーマにおいても、参加者は対象を絞らず、様々な関係者を参集すべき。	3	15.0%
3. その他	1	5.0%
無回答	1	5.0%
合計	20	100.0%

3. その他

- 1 対立する者をあえて意見交換させ、それを多くの者が観覧することにより代替意見交換を精神的にはバーチャル参加している気になることを活用できないか。c f. 朝まで生テレビ
- 2 色々な招集パターンがあって良いと思います。挑戦し続けて欲しいです。

問5 会全体を通してご意見やご感想がございましたら、自由にご記入ください。

- 1 国際的な感覚を、日本の体制に流されているとややもすれば忘れがち。このような会がまた開催されるよう望む。
- 2 フロアからの時間がもっと長い方がよかった。
- 3 ・様々な関係者が一堂に会するのは、望ましいが、話がかみあうまでに時間がかかるので、継続的に開催されることがのぞまれる。
・発表者に対する質問ばかりではラウンドテーブルにしている意味がないのでは？
- 4 会場が狭くてきゅうくつであった。
- 5 こちらの席からは声が聞こえているだけで、内容が分かりにくい。また通訳はいるが、英語と日本語が混ざっていて聞きとりづらい。意見を言える場所でない。もっと席の配置など考えてほしい
- 6 リスクコミュニケーションには教育が重要である。
 1. 子供、小学、中学教育
 2. 女子大生の教育
 3. 母親達の教育
 4. マスコミが興味本位でなく正しい教育に協力する
 5. マスコミの誤った報道に対する食品安全委員会のキゼンとした意見の表明

7	<p>多勢を集めて、ほとんど講演やパネル討論で時間をとる手法よりはましである。より効果的にワークショップとして開催するならば事前にラウンドテーブル参加者に情報を与え可能な討論に論点をクリアにして議論すれば内容が深まる。特に海外の著名な研究者を呼びDiscussionをする機会と時間は限られるからより効果的に行うことが大切である→今後への提言・講演からはBenefit、Environmental/Ethical/Economical Riskを統合的にcommunicateする必要性の指摘が良かった。</p> <p>・またRMとRAのFunctional Independencyは良いとしてもFramingを考えるところにStakeholder Involvementが大切という指摘はそのとおり。そのように配慮したRCが必要である。ワークショップ用メモ(大阪府)は最初の方で紹介されても良かった。行政が意見を聞いても答えないということは非常に大きな問題となるという事例はインパクトがあった。</p>
8	<p>・かつてのタウンミーティングのような関係者が占める参加、お祭りの集会にはならないように配慮してほしい。</p> <p>・ラウンドの中に地方自治体、メディアの方が参加していることは意義深い</p> <p>・5時以降の通訳はどうした？(一番大切なことをギロンしているのに)急に止めたが、こういうことが、サービス精神不足だと言われるゆえんだと思う。非常に残念。</p>
9	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出欠の申込みの際問題点や質問の前もって調べておいたやり方も一考では 2. パネリストについて問題点を質問してくれて良かった 3. 今後もこの様な会をやって下さい。
10	<p>安全安心に対する施策や対処をしているにもかかわらずそのことが消費者に伝わりにくい状況にあると思います。非常に残念に思います。悪い事ばかりが強く表現されすぎていると思います。</p>
11	<p>県での食品安全会議等の活動は、知っておりましたが国での活動、食品安全委員会の活動を具体的に知ることが出来て良かったです。もっと、食品安全委員会が活動をしていることを一般消費者にアピールすると消費者も理解しやすくなりやすくなるのではないのでしょうか</p>
12	<p>・行政が食品についてどんな検査や監視などしているのか良く分かった。</p> <p>・健康食品についてとても興味を持っているので、正しい内容とか解るパンフなど手近に手に入れられるものがほしい。</p> <p>・マスコミの報道をう飲みにしてはいけないかも？</p> <p>・消費者も、もっと勉強しなければいけないと思った。その機会をもっと行政は作ってほしい</p>
13	<p>少人数での意見交換が行われていたが、それでも議論がかみ合わない。本日の議論の目的が明確でないからではないだろうか。クライスコミュニケーションとリスクコミュニケーションを混合された議論も見られRCの議論を行ったFSCの実績になるかも分からないがあまり成果は期待出来ない。今RCは依然として一方的で市民サイドでの研究・議論が少なすぎる様に思える。</p>